

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第86回研究会開催案内

日時： 平成26年3月24日(月)18:30 — 20:30

場所： エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

講師：株式会社ブルーム

代表取締役 山崎 信二(やまさき しんじ) 氏

略歴：昭和50年(1975年)佐賀県立唐津商業高等学校卒業後、実家稼業(川魚料理「あかみず」)を継ぐべく修行し、川魚料理「あかみず」の代表取締役を務める。平成3年に㈱ブルームを設立。設立時より現在に至るまで代表取締役を務める。平成6年に㈱ブルームにおいて化粧品輸入販売許可を取得し、化粧品の輸入販売を開始。その後、化粧品の輸入代行業務を開始。自社取扱化粧品に関する成分分析を行うために自社分析室を設置し、化粧品輸入のワンストップサービスであるトータルシステム事業を開始する等、化粧品関連に特化した事業内容へとシフトしていく。その後、平成16年1月には薬事法に基づく試験検査機関の指定(現、登録機関)を受け、同4月には分析室がISO9001の認証を取得。また、平成17年3月には製造業(包装・表示・保管)許可を取得。近年では、平成24年にフランス・コスメティックバレーの名誉会長アルバン・ミュラー氏の唐津訪問をきっかけに唐津コスメティック構想が高まり、中核機関であるJCC(ジャパン・コスメティックセンター)の設立に大きく寄与した。また、オリーブ等農産品の6次産業化を検討、ブランド品の真正度判定システムの確立等、分析・業務の幅を広げ続けている。

テーマ：アジアへ向けた唐津コスメティック構想について

概要：平成25年4月に唐津を東アジアマーケットへの戦略拠点とすべく、フランス共和国の化粧品産業の集積地であるコスメティックバレーと唐津市との間で協力連携協定が締結された。唐津はアジアに近く、輸出に必要なインフラ・化粧品産業の基盤・豊富な自然などを有している。唐津コスメティック構想は、「人と環境にやさしく地域資源と優れた技術を活かした国際的コスメティッククラスター」を、唐津市、玄海町を中心とした佐賀県、ひいては北部九州に広げていくことを目指し、産学官が連携して、天然由来の原料研究と高品質の製品開発に積極的に取り組んでいる。今回は、佐賀県玄海町の薬草研究の推進やオリーブの普及等、6次産業を創出する同社の今後の取り組みについて紹介頂く。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会